

～平塚市公園愛護会連絡協議会会報～

Aigo～愛護～

16号～平成24年12月28日～

平成24年度公園愛護会連絡協議会視察研修会のご報告

平塚市公園愛護会連絡協議会市外視察研修会が11月7日(水)に行われました。当日は、前日の雨が嘘のように、天候にも恵まれ、暖かな日の中の研修となりました。無事に事故もなく視察研修ができましたのも、会員の皆さまの御協力があったることと、紙面を通じまして、厚く御礼申し上げます。

この度、受入に御尽力いただき、協議会でお邪魔いたしましたのは、神奈川県茅ヶ崎市にある「県立茅ヶ崎里山公園」と厚木市にある「ぼうさいの丘公園」です。

茅ヶ崎里山公園では、管理運営の代表である園長と職員の方から、公園の概要や四季の様子、管理運営方針や事業について、スライドを使いながら説明をしていただきました。説明会場のパークセンターは暖房が入っていましたが、この燃料は、園内の樹木管理により発生材をチップ化し活用しているとのこと。このような環境や生き物に配慮した取り組みについてもお話いただきました。説明後は園内を各自で自由に見学しました。

ぼうさいの丘公園では、管理運営を担っている公社の方、市の公園緑地課・危機管理課職員の方から公園の成り立ちや特徴、防災機能、維持管理に苦勞する点等についてお話いただきました。

説明後は職員の方に同伴いただき、防災備蓄倉庫をはじめ、園内のさまざまな防災設備について、実際に見学させていただくことができ、とても貴重な体験となりました。



県立茅ヶ崎里山公園



茅ヶ崎里山公園は、現在の茅ヶ崎市周辺では希少になった、谷戸地形上に田畑、樹林地、湿地などの多様な環境からなる里山の自然が残る広域公園です。計画面積は 36.8ha、開設面積は現在 34.4ha と計画面積の約 93% となっており、平成 26 年には全面開園予定となっています。園内は子供の遊び場を提供する「子供の村」や、公園の玄関口となる「山頂の村」、花や芽吹きなどの景観を楽しむ「森の村」、里山環境の保全修復と里山の文化や循環のしくみを継承する「谷(やと)の村」など、いくつかのゾーニングされており、それぞれの特性を踏まえた整備や管理が行われています。

【管理運営方針】

自然と親しみ、交流と活力を生む新しい里山文化の創造

【管理運営テーマ】

〈いっしょにつくる〉

①地域や人とつながる
交流の場づくり

〈里山環境づくり〉

②自然とのやりとりによる
共生の創造

〈豊かなパークライフの実現〉

③あらゆる人と笑顔の
レクリエーション

公園の管理運営については、指定管理者制度を導入していますが、里山環境の保全と利用のバランスを目指し、多様な主体と連携を取りながら、県民参加による管理運営を進めています。里山保全エリアでは、茅ヶ崎里山公園倶楽部と協働し、教育機関の体験学習の受け入れを実施する等、里山保全普及のための活動を行っています。

地域住民と協働した行事の開催も盛んで、春・夏に行われる公園まつりや七夕まつり、中でも例年11月に実施されるレインボーフェスティバルでは、模擬店や園芸発表会等が行われ、昨年は約45000人も来園者が訪れ賑わいを見せました。その他にも、県民企画の持ち込みイベントとして、音楽会や絵画展示等、県民の方の企画を共に行う活動も実施されています。

また、園内には季節の花が植えられ、訪れる人々を楽しませてくれます。春は菜の花、夏はソバの花が見ごろを迎えます。研修に訪れた日は、たくさんのコスモスがきれいに花を咲かせていました。



ぼうさいの丘公園

自然がある、安らぎがある、安心がある、ぼうさいの丘公園

1 多目的広場
ソフトボールやサッカーなどのスポーツが楽しめる広場です。

2 スケートボード場
スケートボードが楽しめる施設です。

3 遊びの丘
コンビネーション遊具やローラー滑台がある子供たちの遊び場です。

4 遊びの池
噴水や気泡などにより様々な水の表情を演出し、水遊びもできます。

5 ミニコート
スリーオンスルーやフットサル、ドッチボールなどができます。

6 小動物園
小鳥や小動物を間近で見ることができます。

7 センター施設
公園の管理事務所があります。この施設の中には、講義室、研修室、会議室があります。

8 ふれあい広場
公園の西側にある大山や丹沢などが一望できる芝生広場で、景色を楽しみながら休憩できる場所です。

9 流れ
遊びの池から流れる小川。災害時には生活用水となります。

10 季節の丘
樹木に囲まれ、大きな木が中央にある芝生の広場です。四季折々の木々の表情を楽しみながら休憩できる場所です。

11 子供広場・原っぱ
子供広場と原っぱが一体となった広大な芝生広場で、ふわふわドームをはじめ、子供から大人まで、多様な使い方ができる場所です。

12 展望広場
展望の開けた広場で、災害時にはヘリポートとなります。

13 野鳥の池
池、湿地、草地からなる自然を多く残した池です。野鳥を観察できるように四阿があります。

14 あすまや
野鳥の池を観察できる休憩所。

15 野草の回廊
ゆったりと野草を楽しみながら歩くことができます。

センター施設利用・申込み方法

利用時間：9時～21時
休 日：12月29日～1月3日
申 込 先：厚木市公園緑地課

利用区分	単 位	全 費
講義室A (45人)	1時間	200円
講義室B (55人)	1時間	200円
研修室 (50人)	1時間	200円
会議室 (14人)	1時間	200円

※講義室B、研修室、会議室の申請は、マイタウンクラブ利用の団体登録が必要です。アドスは差支えをなくください。

多目的広場利用・申込み方法

利用時間：9時～17時
休 日：12月29日～1月3日
申請期間：使用しようとする日の2ヶ月前から
当日まで申請をしてください。
申 込 先：ぼうさいの丘公園管理事務所
料 金：無料

ぼうさいの丘公園は、面積が9.4haの総合公園であり、厚木市の広域避難場所に指定されている防災公園です。「ぼうさいの丘公園」という名称は、市民の公募によりつけられたもので、「防災」という意味だけでなく、園内の丘から西側に大山がきれいに望める場所であったため、「望西（ぼうせい）」の意味も込められているとのことです。

災害時には約2万人の避難が可能で、公園内には、飲料水を確保するための耐震性貯水槽や各種資機材を保管する備蓄倉庫、非常用トイレ、緊急時の物資の輸送や搬入時に使用できるヘリポートなど、災害時に対応できる施設や設備が設置されています。

面積960㎡の防災備蓄倉庫には、2万人に対し3日分の食糧が備蓄されています。他にも非常用発電





機や燃料、組み立て式トイレや毛布、生活用品等が倉庫内に整理され保管されていました。また、センター施設入口の芝生広場の下には100トンの耐震性貯水槽が3基あります。通常時は水道管とつながっており、地震が起こった際には遮断弁によりタンクに水が溜まる仕組みで、専用の蛇口から飲料水として利用できるようになっています。非常用のトイレになるベンチは、実際にベンチの座面の部分を外して、トイレになる様子を見させていただきました。



公園の維持管理について、苦労している点は、害虫駆除と除草作業であるとのこと。園内には高～低木まで合わせて2900本程が植栽されており、害虫の発生が多いため、早急な対応を心がけています。来園者や近隣の迷惑にならないように、消毒剤の散布は早朝に実施しています。また、園内は急斜面が多く、除草等を機械で行えないため、人の手による作業が必要となり、現在は業者や職員で作業を行っています。平塚市の愛護会のように地域住民にも協力していただけるような体制づくりが今後の課題とのことでした。

おわりに

視察研修会に御参加いただいた皆さまお疲れ様でした。それぞれ特徴的な公園で、新しい発見や学ぶべき点があったのではないかと思います。今後の愛護活動に少しでもお役立ていただければ幸いです。また、限られた時間の中でしたので、広い園内をすべて見る事ができなかった方も多かったのではないのでしょうか。今回の研修会に参加できなかった会員の皆様も、今回の視察先は、平塚からも程近い場所ですので、機会がありましたらぜひ遊びに行ってみてはいかがでしょうか。ありがとうございました。

現在、平塚市には270箇所の公園が整備されており、そのうち165箇所の公園に愛護会が設立されています。皆さまのお近くの公園で、まだ愛護会が設立されていない公園がありましたら、ぜひ声かけをして愛護会の設立を呼び掛けていただければと思います。
御不明な点は、みどり公園・水辺課まで御連絡下さい。



Aigo~愛護~

誌面づくりに参加いただける方を随時募集しています。公園愛護活動風景や公園自慢等ご連絡お待ちしております。(メールやお便りによる内容も大歓迎です。)

問合先
平塚市役所みどり公園・水辺課
電話:0463-23-1111 内線 2424・2515
メールアドレス:
midori@city.hiratsuka.kanagawa.jp